

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの情報発信				整理番号	667		枝番号			
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	592 593		
係名					みどりの計画係			上位施策名		No		
予算事業名					みどりを育てる			コード		63900		
					水辺とみどりの保全・創出					12		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第2条			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)			
	全ての区民								(3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				みどりの新聞、緑化パンフレット、緑化副読本など、様々な印刷物の発行をとおして地域緑化の普及啓発を図る。				活動指標名(式)			
								(1) みどりの新聞発行部数 / 年				
								(2) 緑化パンフ・緑化副読本発行部数 / 年				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				区民の地域緑化への関心を高める。				成果指標名(式)				
								(1) みどりの新聞閲覧率 = 町会加入世帯数 / 区世帯数				
								(2) 緑化副読本配布率 = 配布数 / 印刷部数				
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		部	21,000	36,000	80,000	52,000	68,000				
	活動指標(2)		部	3,600	3,600	5,600	8,600	5,600				
	成果指標(1)		%	60	60	58	58	57				
	成果指標(2)		%	96	96	97	97	97				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,027	2,657	4,343	2,484	6,798	特記事項			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	3,780	14年度発行部数内訳 みどりの新聞 52,000部 緑化パンフ 5,000部 緑化副読本 3,600部			
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.25	0.40	0.40	0.40	0.60				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,271	3,633	3,633	3,633				5,450
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	3,298	6,290	7,976	6,117	12,248				
	単位あたりコスト ÷		円	157	175	100	118	180				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	3,298	6,290	7,976	6,117	12,248					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		みどりの条例制定以来、様々な印刷物の発行を行っている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		みどりの新聞については、読みにくいなどの意見がある。									
	今後の予測		緑化に関する情報は、知識・技術のみならず、ボランティア志向の高まりに伴う情報の発信など、益々重要となると考える。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	65.0	活動指標(2)の14年度達成率%	153.6	14年度予算執行率%	57.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	みどりの新聞は、区民との協働による編集発行を導入したことから、編集に時間がかかるなど発行が大幅に遅れたため、浄書印刷による発行をするなど、発行回数は確保したものの計画通りの予算執行はできなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由:様々な緑化施策の推進には、区民の理解と協力が不可欠であり、区民の緑化知識の向上を図るために重要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:区民を対象とする事業であるので区が行う。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:区民へ積極的に配布する。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:区民向けの印刷物であるため、見直す余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:対象は区民であるため変更はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:緑を扱う印刷物であるため、カラーが望ましいが、2色刷など最小の経費で発行しているため、これ以上コストは下げられない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 可能な限り、区民ニーズにあった、企画内容により編集する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの講座の開催				整理番号	669		枝番号						
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	内線3464		昨年度整理番号	594					
係名					みどりの計画係			上位施策名		No					
予算事業名					みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全・創出	12				
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第2条								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)								
	全区民						(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				広報等で参加者を募集し、区内の施設や公園等を会場に緑化に関する講座を開催する。		活動指標名(式)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				講座をととして、区民のみどりに関する知識などを高める。		成果指標名(式)									
						(1) 参加人数									
						(2) 参加率 = 参加人数 ÷ 募集人数									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		回	1		8		20		16		20			
	活動指標(2)		人	180		520		1,000		238		600			
	成果指標(1)		人	152		379		1,000		174		600			
	成果指標(2)		%	84		73		100		73		100			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	178		572		1,880		518		1,853		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.75		0.50		0.50		0.50		0.40			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,812		4,542		4,542		4,542		3,633		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	6,990		5,114		6,422		5,060		5,486			
	単位あたりコスト ÷		円	6,990,000		639,250		321,100		316,250		274,300			
	財源	受益者負担分		千円			20								
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		20		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	6,990		5,094		6,422		5,060		5,486				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.4		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		園芸を趣味にする区民も多いが、温暖化などの環境問題が地球規模の問題に広がりつつある現在、身近な緑化に対する関心も高まってきている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		講座開催の希望が多い。												
	今後の予測		園芸技術の講座に関しては、受講希望者が益々多くなっていくと考える。また、園芸だけでなくボランティア活動や生活環境の改善など広範な講座が求められると予想している。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	80.0	活動指標(2)の14年度達成率%	23.8	14年度予算執行率%	27.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	依頼する講師などの関係から、開催講座数が増やせなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	講座の講師に、みどりのボランティア杉並の会員から協力を得た。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	講座を開催することにより、地域緑化への関心を高めることができる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	区民に身近な区が、緑化知識・技術の普及啓発を行うべきである。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更					
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	必要に応じて教材等の実費分を参加者より徴収している。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	みどりに関心を持つ区民を対象としているので、それを変更するべきではない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	講座は講師謝礼程度の必要最低限の経費で実施している。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 緑化知識・技術の普及を基本とするが、区民ニーズを適切に把握し、今求められている内容で実施する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 講師の確保、講座の内容によっては、みどりのボランティアの協力を得るなど検討する。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 現状の規模で実施する。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのイベントの開催				整理番号	670		枝番号	
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	595
係名		みどりの計画係			上位施策名				No	
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全・創出				12
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第2条					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 全区民				(2)					
					(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 広報等でPRするなどして、みどりに親しむイベントを開催する。				活動指標名(式)					
				(1) イベント開催数						
				(2) イベント参加申込み人員数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) みどりをテーマにしたイベントをとおして、みどりへの関心を高めることや、区民同士が交流できる場を設ける。				成果指標名(式)						
				(1) 参加人数						
				(2) 参加率						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		回	0	1	1	1	1		
	活動指標(2)		人		20	20	42	100		
	成果指標(1)		人		17	20	42	100		
	成果指標(2)		%		85	100	100	100		
総事業費・コスト把握	事業費		千円		4	60	12	92	特記事項 14年度「みどりのイベント」(6/5～11 井草森公園等) すぎなみの巨木めぐり 園芸相談 ペンダント作り 苗木配布 植物観察会 園芸教室	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人		0.30	0.30	0.30	0.20		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	2,725	2,725	2,725		1,817
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	0	2,729	2,785	2,737	1,909		
	単位あたりコスト ÷		円		2,729,000	2,785,000	2,737,000	1,909,000		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	2,729	2,785	2,737	1,909			
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		ふるさとまつり等の機会をとらえ、区民向けのイベントを行ったが、みどりと親しめる内容の催しは益々関心が高まっている。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		みどりのイベント参加者にはたいへん好評であった。							
	今後の予測		環境問題への関心の高まりを受け、イベント内容を充実する事により、区民の緑化活動の広がりが期待できる。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	210.0	14年度予算執行率%	20.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	事務費節減努力による。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	イベントを充実させることによって、みどりへの愛着と関心を高めることができる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	区民に身近な区が、緑化の普及啓発を行うべきである。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	経費は事務費程度であるため、負担を求める必要がない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	区民を対象としているので、それを変更するべきでない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	事務費程度の経費で実施している。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) みどりのボランティア制度の創設により、みどりのボランティアとの協働により行うことで、イベントの開催成果の向上が期待できる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 イベントの充実のために経費増が考えられるが、最小の経費で実施できる内容の検討をする。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのボランティア				整理番号	671		枝番号		
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	596	
係名		みどりの計画係			上位施策名				No		
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全・創出				12	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第2条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内でみどりに関するボランティア活動を希望する個人				(2) 杉並区「みどりのボランティア杉並」設置要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ボランティア活動希望者を区に登録し、活動しやすい環境の整備や支援を行う。				(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ボランティア活動希望者を区に登録し、活動しやすい環境の整備や支援を行う。				活動指標名(式)							
				(1) 登録者数							
				(2) グループ数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 地域の生活者の視点からきめ細かな緑化活動を推進し、継続性ある独立したボランティア組織にする。				成果指標名(式)							
				(1) ボランティア活動の延べ人数							
				(2) ボランティア活動の件数							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	0	98	100	100	100			
	活動指標(2)		団体		0	23	22	23			
	成果指標(1)		人		0	100	102	100			
	成果指標(2)		件		0	23	21	23			
総事業費・コスト把握	事業費		千円		427	612	120	660	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人		1.00	1.00	1.00	0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	9,083	9,083	9,083	5,450		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	9,510	9,695	9,203	6,110			
	単位あたりコスト ÷		円		97,041	96,950	92,030	61,100			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	9,510	9,695	9,203	6,110				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		始まったばかりの事業であるが、地域緑化へのボランティア志向は、着実に広まっていると考える。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		みどりのボランティア活動に対して、多くの区民から関心がよせられている。また、平成14年度みどりの実態調査における住民意識調査では、みどりのボランティアについて66%の人が興味があると答えている。								
	今後の予測		生活のゆとりや余暇の増大とともに、益々ボランティア志向が高まると考える。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	95.7	14年度予算執行率%	19.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	始まったばかりの事業であり、各グループのボランティア活動に差があるため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	生活者の視点から行われる緑化活動は、区民が創るみどりの都市そのものであるため、施策への貢献度は大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	地域緑化へのボランティア意向を受け止める制度としているため、区が行う。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	緑化ボランティアに関する情報を積極的に発信するとともに、区との役割分担を明確にしながら、協働の体制を整備し、ボランティアの輪を拡大する。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	ボランティア活動のため受益者負担の見直し余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)					
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	緑化に関するボランティアの養成事業と考えており、コストを下げる余地はない。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 本来、ボランティアとは、自発的な活動であるため、区が誘導して行うものではない。そのため、現在登録しているボランティアに関しては、将来的に、地域のボランティア活動のリーダーとなり、自主的な活動を行うよう養成する。また、任期が2年であり、独立し活動を継続することや、その他の団体への活動支援など、みどりの基金と連携しながら、ボランティアの輪を広げることを考えていく。					
中長期的な視点	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 みどりのボランティア杉並はボランティアの養成組織と位置づけるとともに、定員を定めるなど要綱を改正する必要がある。また、その他の地域緑化ボランティア希望者等の支援を、みどりの基金運用により考えていく。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	定員を定めることで予算の増減はない。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの相談所				整理番号	672		枝番号		
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	内線3464		昨年度整理番号	597	
係名		みどりの計画係				上位施策名			No		
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全・創出			12		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第2条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)				
	緑化情報を必要としている個人						(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区立塚山公園内管理棟に、みどりの相談コーナー、みどりの図書閲覧コーナー、展示講義室等を備えた「みどりの相談所」を併設している。(みどりの相談は毎週土、日曜に実施)				活動指標名(式)		(1) 相談実施日数		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		みどりの情報等を提供することで、緑化知識の向上を図る。				成果指標名(式)		(1) 相談件数累計			
								(2) 来所者数			
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		日	45	98	104	105	104			
	活動指標(2)		人	1	2	2	2	2			
	成果指標(1)		件	3,737	4,322	5,000	4,745	5,500			
	成果指標(2)		人	150	246	250	208	250			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,136	3,019	3,219	3,245	3,181	特記事項		
	(内)委託費		千円	1,379	1,459	1,460	1,460	1,460			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.20	0.20	0.20	0.05			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	908	1,817	1,817	1,817	454		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	3,044	4,836	5,036	5,062	3,635			
	単位あたりコスト ÷		円	67,644	49,347	48,423	48,210	34,952			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	3,044	4,836	5,036	5,062	3,635				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		緑化への関心が高まるなか、様々な緑化情報の提供要望が増加してきている。開設当時は、みどりの分野に詳しい非常勤職員が配置され、平日も園芸相談を行っていたが、現在は専門相談員により土曜と日曜日のみ園芸相談を行っている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		通年の緑化相談やインターネットを利用した相談など相談業務の充実が望まれている。								
	今後の予測		みどりに対する関心の多様化から、今後も相談や情報の提供要望の増加が予測される。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	101.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	100.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	来所者数が減少した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	児童向けのみどりに関する蔵書を増やしている。また、井草森公園管理棟内にみどりの図書コーナーを新設した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)		地域緑化の推進には、区民へのみどりの普及啓発のための情報提供が不可欠である。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)		東京都は相談所を廃止したが住民と密着した立場の区がきめ細かいみどりの情報を提供すべきである。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更					
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)		普及啓発事業であるため見直す余地はない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)		緑化に関する様々な情報を必要としている区民を対象にしており、それを変更することは適切ではない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)		相談所に関する費用は、必要最小限の経費で実施している。			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 井草森公園管理事務所に、専門相談員を配置した緑化相談コーナーを開設することを検討する。また、みどりの相談所のPRを積極的に行い、平日や休日の利用者の拡大を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 相談所の運営内容など見直し検討を進める。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの育成協定				整理番号	673		枝番号				
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	598			
係名					みどりの計画係			上位施策名		No			
予算事業名					みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全・創出	12		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第2条、第23条						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) みどりの条例施行規則 第16条						
	協定を締結する区内1,000㎡以上の敷地を有する工場、住宅団地等の事業者、管理者				(3)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)								
1,000㎡以上の敷地を有する住宅団地などの管理者等とみどりの育成に関する協定（5年間）を締結し、敷地内緑化のための苗木の供給などを行う。				(1) みどりの育成協定数									
				(2) みどりの育成協定面積									
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)									
育成協定を結ぶことによって、工場や住宅団地等での緑化活動を進めやすくする。				(1) 苗木供給本数									
				(2) みどりの育成協定苗木供給実績件数									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	計画	年度					
指標	活動指標(1)		件	12	9	10	9	10					
	活動指標(2)		㎡	161,719	138,459	10,000	109,666	10,000					
	成果指標(1)		本	275	219	900	205	900					
	成果指標(2)		件	8	5	10	5	10					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	303	224	828	353	831	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.30	0.30	0.30	0.05					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	908	2,725	2,725	2,725	454					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	1,211	2,949	3,553	3,078	1,285					
	単位あたりコスト ÷		円	100,917	327,667	355,300	342,000	128,500					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	1,211	2,949	3,553	3,078	1,285						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		宅地の細分化の進展に伴い、対象となる施設が減少傾向にある。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		なし										
	今後の予測		大規模開発など、新たな協定対象の出る可能性がある。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	90.0	活動指標(2)の14年度達成率%	1,096.7	14年度予算執行率%	42.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	1000㎡以上の敷地所有者、管理者等との協定となるためマンションの管理組合などが増える傾向にある。そのため総意を得るために時間がかかる場合が多く、相談はあるが協定にいたらない例が多い。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	広報によるPRや、チラシの配布による事業紹介を行った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	対象地の多くは緑化余力があり、緑化用苗木の供給などを行うことで地域の緑の創出効果がある。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	新規の緑化でなく、プラスアルファの緑化活動であるため、区が行うべきである。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	生活環境の改善のための事業であることを積極的にPRし、理解を得る。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	協定に基づく敷地内緑化への支援が目的であるため、受益者負担の見直しの考えはない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	現在の対象を変更するのは適切でない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	緑の保全、創出策として小規模事業であるが、現状で継続されるべきである。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 協定の趣旨を理解してもらえるよう積極的にPRに努めるとともに、苗木の供給本数増を目指す。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 協定者が独自に植栽するため、供給本数が増えない。 制度などの説明により理解と協力を得る。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 協定内容や数は予算の範囲内で行っている。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生けがき協定				整理番号	674		枝番号					
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	599				
係名					みどりの計画係			上位施策名	No					
予算事業名					みどりを育てる			コード	63900	水辺とみどりの保全・創出	12			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度							
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) みどりの条例 第2条、第21条、第22条				(2) みどりの条例施行規則 第13条、第14条、第15条			
	生けがき等を保全する目的の協定を締結した所有者								(3) 杉並区生けがき協定における補助金交付要綱					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				敷地の道に面した部分 (道路境界から1mの範囲) に造成された10m以上の生けがき、植え込み、フェンス緑化を保全・育成する協定を締結した場合、区はその協定を認定するとともに維持管理費用の一部を補助する。				活動指標名(式)				(1) 生けがき協定数(累計)		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				生けがき等の所有者に長期にわたって良好な維持管理に努めてもらう。				成果指標名(式)				(1) 協定を締結している生けがき等の延長		
								(2) 生けがき協定保全率 (生けがき協定累計数 ÷ 生けがき協定廃止 × 100)						
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画		実績		年度			
指標	活動指標(1)		件	3		7		9		10		12		
	活動指標(2)		件	3		4		2		3		2		
	成果指標(1)		m	73		73		20		55		20		
	成果指標(2)		%	100		100		100		100		100		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	49		0		173		129		151	特記事項 補助金交付額 維持費用 生けがき1m当たり250円/年 植え込み1㎡当たり100円/年 フェンス緑化1m当たり50円/円 (3年ごとに交付する。)	
	(内)委託費		千円	10		0		24		0		12		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.05		0.30		0.30		0.30		0.05		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	454		2,725		2,725		2,725			454
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	503		2,725		2,898		2,854		605		
	単位あたりコスト ÷		円	167,667		389,286		322,000		285,400		50,417		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	503		2,725		2,898		2,854		605			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		10m以上の生けがきを対象に造成費の割増助成をしていたが、平成12年度より、対象の拡大と、緑の保全育成を目的とするため、管理費の一部補助の制度に変更した。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		なし。											
	今後の予測		制度の変更により、協定数の増加と、保全される緑が増えると考える。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	111.1	活動指標(2)の14年度達成率%	150.0	14年度予算執行率%	74.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画以上の生けがき協定が締結された。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	広報等で事業案内を行った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 区内の良好な生けがき等の保全が図られる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 緑の保全・育成のため、区が行うべきである。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 生けがき等の保全・育成を目的に結ぶ協定であるため、見直す余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 生けがきの所有者が結ぶ協定であるため、対象者を変更することは適切ではない				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 生けがき等の保全のためには、コストをさげるべきではない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 協定の理解を得られるよう、積極的なPRにつとめる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	協定者への補助は3年に1度であるため該当協定数に応じた増加がある。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの基金(創設)				整理番号	675		枝番号			
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	600	
係名		みどりの計画係				上位施策名			No			
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全・創出			12		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第241条 (2) (仮称)杉並区みどりの基金検討会設置要綱 (3) 杉並区みどりの基金条例							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 みどりの基金検討会委員											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 平成14年度に(仮称)杉並区みどりの基金を制定するため、学識経験者等による検討会を設置する。				活動指標名(式) (1) 検討会開催累計数(平成14年度まで) (2) 検討会委員数(平成14年度まで)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) みどりの基金を制定するために、基金のあり方について検討を行う。				成果指標名(式) (1) みどりの基金に対する区民からの意見数 (2) 検討会報告書発行部数							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		回	3	5	5						
	活動指標(2)		人	6	6	6						
	成果指標(1)		件	48	50	28						
	成果指標(2)		件	0	350	350						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	214	500	432		特記事項				
	(内)委託費		千円					今事業の成果は14年度で達成した。15年度以降においては、基金の運用を対象としていく。				
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00	1.00	1.00	0.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	9,083	9,083	9,083					0
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					0
	総事業費 + +		千円	0	9,297	9,583	9,515					0
	単位あたりコスト ÷		円		3,099,000	1,916,600	1,903,000					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0					0
差引:一般財源 -		千円	0	9,297	9,583	9,515	0					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		みどりの基金は「杉並区緑化基本計画」(1984年)や、その後の「杉並区みどりの基本計画」(1999年)において設置が計画されていた。平成13年度から14年度当初にかけ、杉並にふさわしい基金を検討し、14年10月に基金条例を制定、運営を開始した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		区民自らが様々な緑化活動に参加したいという意識の高まりとともに、区民自らの手でみどりを守り増やしていくための仕組みとして、基金創設に強い関心が寄せられている。									
	今後の予測		今後、みどりの基金が創設されることにより、区民、事業者、区のパートナーシップ(協働)による、区内のみどりの保全・創出が可能となる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	86.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	13年度からの基金検討を踏まえ、検討会の報告がまとまり、条例を制定した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	なし					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：杉並区にふさわしい基金のあり方について検討するためのものであるため、貢献度は大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	区で設置する基金であるため、区で行う。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：検討会の検討結果が成果となり、それを生かして基金を活用していく。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	受益者負担の見直しの余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	対象を変更することはできない。(報告書は14年度で終了したため)				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	低金額での報酬で委員を依頼しているため、これ以上のコスト削減は難しい。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) なし					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 なし					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校のエコアップ			整理番号	676		枝番号		
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221907		連絡先電話番号	3465		
係名		みどりの事業係			上位施策名			No		
予算事業名		みどりを創る		コード	64100		水辺とみどりの保全・創出			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例第2条					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)					
	区立学校				(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区立学校において、道に面した塀等を緑化することや、様々な生き物が生息できる場所を整備する。				活動指標名(式)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 過密化した地域において、学校は防災上、まちなみ景観上、環境改善上重要なオープンスペースであることから、地域緑化の先導的役割を果たすとともに、特に移動性動物の移動ネットワークの拠点とする。				成果指標名(式)						
				(1) 整備延長÷接道部緑化計画延長						
				(2) 設置校数÷設置計画学校数						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		22年度		
指標	活動指標(1)		m	190.2	260	281.0	360	2,600	10.8	
	活動指標(2)		校	3	2	2	2	20	10.0	
	成果指標(1)		%	73.00		108.00		100.00	108.0	
	成果指標(2)		%	150.00		100.00		100.00	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17,252	18,540	15,534	36,000	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.40	0.30	1.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	3,633	3,633	2,725	9,991	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	0	20,885	22,173	18,259	45,991		
	単位あたりコスト ÷		円		109,805	85,281	64,979	127,753		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	0	20,885	22,173	18,259	45,991			
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成14年度の環境基本計画改定などにより、生物多様性確保や自然生態系保全などの視点から見直しがなされ、本事業を取り巻く法整備が整ってきた。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		接道部緑化については、防災上、景観上塀などが緑に変わって良い。また、ビオトープの設置については、児童の生き物に対する関心が高まった。							
	今後の予測		環境学習、環境教育の観点からも、本事業の重要性はますます高まると予測される。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	108.1	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	83.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	接道部緑化工事の既存塀の撤去費等が廉価で収まったことによる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由：緑を増加させるための地域緑化の先導的役割を果たすため大変重要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由：区の施設に関する緑化であるため、区自らが行う必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ ▼	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由：区自らの施設を緑化するため。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか ▼	理由：対象は、区立学校を変更するのは適切でない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由：事業の縮小をしない限りコストを下げられない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのリサイクル				整理番号	677		枝番号			
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221098		連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	602	
係名		みどりの事業係				上位施策名			No			
予算事業名		みどりを守る		コード	64100		水辺とみどりの保全・創出			12		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第2条							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)							
	公園、学校、道路、河川をはじめとした公共施設より発生する剪定枝葉				(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 公園、学校をはじめとした公共施設の樹木維持管理により発生する剪定枝葉を、可能な限りチップ化するなどして焼却せずに資源化する。また、学校や公園に落ち葉溜めを設置して落ち葉の堆肥化を進める。				活動指標名(式) (1) 発生材の資源化量(t) (2) 落ち葉溜め設置数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 剪定枝葉や落ち葉をゴミとして焼却せずに資源として活用する。				成果指標名(式) (1) 資源化率 = (再資源化量 ÷ 発生材の総量) × 100 (2) (代)落ち葉溜め設置累計								
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		t	584	500	797	500					
	活動指標(2)		台	5	4	4	5					
	成果指標(1)		%	100	100	100	100					
	成果指標(2)		台	2	7	11	11	16				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,506	2,339	1,579	4,331		特記事項			
	(内)委託費		千円	0	50	25	75		落ち葉溜め設置累計は公園緑地課で設置した数量である。			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.01	0.01	0.10	0.72					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	91	908	6,540				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	2,597	2,430	2,487	10,871				
	単位あたりコスト ÷		円		4,447	4,860	3,119	21,742				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	2,597	2,430	2,487	10,871					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		植物系発生材の焼却処分量の減少と、自区内処理の増加。公園の落ち葉の区民配布などを施してきた。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		平成14年度に実施したみどりの実態調査のアンケート調査では、みどりのリサイクルに対して72%の区民が興味も示している。									
	今後の予測		植物系発生材の再資源化を自区内で拡大するとともに、15年度策定するみどりのリサイクルプログラムによる資源化をはかる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	159.5	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	67.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	チップ機械購入をしなかったことによる執行の未達成。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由：植物系発生材の自区内処理と活用を拡大して行く。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：区の維持管理している施設からの植物系発生材であるため、区が行う必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：現在は区の維持管理している施設からの植物系発生材であるため、見直す余地は無い。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：区の維持管理している施設の樹木廃材であるため、変更は適切でない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：植物系発生材を焼却せずに自区内で積極的に再資源化することでコストが増加する。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) (1)平成15年度にみどりのリサイクルのあり方、事業実施に向けた検討を行う。その結果を踏まえ、事業の拡充をはかる。 (2)事業推進には区民の理解と協力が不可欠であるとともに、区内の発生量の把握が必要である。					
	(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	当面、検討結果を事業推進に反映するため、詳細な検討・調整が必要で平成16年度予算に見積もる考えである。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		苗木等の育成活用				整理番号	678		枝番号		
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908	連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	603・607	
係名					みどりの事業係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを創る			コード		64100	
					水辺とみどりの保全・創出					12	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第2条		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区緑化用苗木育成管理委託実施要綱		
									(3)		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				緑化を推進するために、苗木を区のイベントや地域緑化、環境保全に関連するイベントにおいて配布する。 区内農地の確保のため、配布用苗木の育成を営農団体に委託し契約年数後、区で引き取る。		活動指標名(式)		(1) 苗木の配布数		
								(2) 育成委託苗木数			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				苗木を配布することにより、区民の緑化啓発意識を高め、区内緑化面積の創出を図る。 苗木の育成委託をとおして、配布用苗木の安定確保をはかると共に、営農者の支援や農地の保全を図る。		成果指標名(式)		(1) 配布苗木累計数にみる想定創出緑化面積			
								(2) 苗木育成による農地保全面積			
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		本	8,220	6,042	6,000	6,610	8,200			
	活動指標(2)		本	32,800	30,100	24,900	24,900	19,700			
	成果指標(1)		m ²	14,718	15,261	15,801	15,856	16,594			
	成果指標(2)		m ²	626	366	505	505	332			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,518	5,838	5,252	5,232	4,316	特記事項 苗木の育成委託の事業は昭和48年度から開始した。成果指標(1)の配布苗木累計数にみる想定創出緑化面積については、苗木1本あたり0.09m ² (枝張り30cmの2乗)として算出した。		
	(内)委託費		千円	6,475	5,830	5,222	5,219	4,286			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.60	0.60	0.50	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,633	5,450	5,450	4,542			4,542
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	10,151	11,288	10,702	9,774	8,858			
	単位あたりコスト ÷		円	1,235	1,868	1,784	1,479	1,080			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	10,151	11,288	10,702	9,774	8,858				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業開始以来30年が経過し、緑被率の減少が続いていたが平成14年度の調査結果では緑被率が9年度調査より3ポイントアップした。(この間の苗木配布総数は約49,000本) 一方、農地は昭和50年に95.4haあったが、平成12年調査では56.8haと減少している。(杉並区統計H14年度版P109参照)								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		苗木の育成委託事業について特に住民要望、苦情はない。 平成14年度のアンケート調査によると、苗木の配布については62%の人が続けてほしいと願っている。								
	今後の予測		相続や開発などで農地が減少していく。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	110.2	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	99.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由) ▼	理由: 緑化の推進を目的にこれまで配布活動をしてきた、その結果として区内のみどりを創ることにつながっている。農地の保全や営農者への支援の一環として一定の役割を果たしている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由: 緑化の普及啓発保全事業者として区が行う。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更 ▼	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 苗木の配布について検討の余地はあるが、有料化した際、緑化啓発の意図との整合性や苗木生産者逼迫の危惧(価格競争の中に区が参入することになる)が懸念される。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ) ▼	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更) ▼	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 苗木配布は緑化啓発効果の向上のため、環境関連行事等と絡め実施する。それにより、区民の意識を「苗木をもらう」から「環境について考える」へと変革を図る。また、あわせて成果指標(1)の想定創出緑化面積に結びつくよう意識の誘導を図る。(平成15年度から徐々に実施する)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 イベント主催担当部との調整を円滑に行う。区民意識(苗木は無料でもらえるもの)の変革を図る。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 営農者への育成委託数の減少					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共施設の緑化				整理番号	679		枝番号			
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908		連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	604	
係名		みどりの事業係				上位施策名			No			
予算事業名		みどりを創る		コード	64100		水辺とみどりの保全・創出			12		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				48年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例第2条							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)							
	区立小・中学校及び区立施設				(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区立施設の接道部の緑化を行うとともに、小・中学校及び区立施設の樹木の適正な維持管理を行う。				活動指標名(式)							
				(1) 接道部緑化整備延長(m)								
				(2) 剪定実施施設数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 区立施設の接道部の緑化を行うとともに、小・中学校及び区立施設の樹木の適正な維持管理を行うことにより、接道部の景観の向上をはかり、まちに良好なみどりの空間を創出する。				成果指標名(式)								
				(1) (総整備延長 ÷ 接道部緑化計画総延長) * 100								
				(2) 剪定総本数								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%
			計画	実績	計画	実績	22年度	年度				
指標	活動指標(1)		m		145.1	100.0	144.5	0.0	1000.0	14.5		
	活動指標(2)		か所			274	227	274				
	成果指標(1)		%		145	100	144					
	成果指標(2)		本	3,532	3,466	3,500	3,386	3,500				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	60,921	75,837	82,430	77,261	69,380	特記事項 区立施設の接道部緑化整備延長については学校の接道部緑化に100m上乗せしている。剪定総本数は施行計画本数であって施設の樹木総本数ではない。平成12年度までは学校の接道部緑化については教育委員会で実施。			
	(内)委託費		千円		68,875	69,130	69,102	69,380				
	職員数(正規 非常勤)		人	1.70	2.00	1.99	1.20	1.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	15441	18166	18075	10900				10900
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	76,362	94,003	100,505	88,161	80,280				
	単位あたりコスト ÷		円		647,850	1,005,050	610,111					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	76,362	94,003	100,505	88,161	80,280					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		学校をはじめとした公共のみどりは、区内緑化の先導的役割を担い、ますますまちの生活環境向上のため重要となってきている。一方、維持管理対象樹木の成長と施設の増加により、コストが増大してきている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		学校をはじめとした公共のみどりは、不安定な民有のみどりと異なり、緑化推進を進めるべきみどりとて要望が高い。また、落ち葉や日陰などの苦情も多い。									
	今後の予測		公共のみどりは地域のみどりの核としてますます重要となると予測される。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	144.5	活動指標(2)の14年度達成率%	82.8	14年度予算執行率%	93.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	区立施設の緑化について、接道部緑化を推進することにより、地域のみどりの核となる、より効果的な緑化を実施する。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 地域のみどりの核として公共施設の緑化、みどりの管理は重要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区の施設を緑化し、維持管理するもので、施設管理者として区が行うべきである。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 区が公共施設の管理者であるため。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 区の施設であるため受益者負担の方式をとっていない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 緑化を行ない、良好にみどりを維持するためには、応分に手をかける必要がある。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 施設管理者と連携をとりながら良好にみどりを育成するためには、よりきめ細かな管理を行う。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 緑化事業に対して、区立施設の理解を得る必要がある。また、樹木の生長により維持管理コストが上昇している。このため、これまで以上に計画的な維持管理を行うなど、効果的な管理手法を検討する。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	地域のみどりの進出により効果的な緑化を実施する。また、まちの宅地化の進展にともない、学校、公共施設の隣接から、樹木管理への苦情が多く寄せられるようになっており、適正に対応するには、管理費増が必要である。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区営苗圃の維持管理				整理番号	680	枝番号		
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908	連絡先電話番号	3465	昨年度整理番号	605	
係名		みどりの事業係			上位施策名		No			
予算事業名		みどりを守る		コード	64300	水辺とみどりの保全・創出		12		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 48年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第2条					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)					
	区有地 2箇所(成田西、成田西第二) 民有地 4箇所(上高井戸、久我山、南荻窪、富士見ヶ丘<14年6月19日廃止>)				(3)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 公共施設の緑化用苗木の育成と寄付樹木の仮植受入れ場所として、機能させていくとともに、区民活動と連携する開かれた施設とする。また、このことによって民有農地の保全を図っていく。				活動指標名(式) (1) 苗木育成数 (2) 苗圃面積					
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 区内の緑化を推進していくための中心的な役割を持たせ、合わせて民有農地の保全を図っていく。				成果指標名(式) (1) 緑化活用苗木本数 (2) (代)苗圃面積						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		本	15325	15,302	15,302	10,336	10,336		
	活動指標(2)		m ²	11,433	11,433	11,433	9,714	9,714		
	成果指標(1)		本	766	5,967	3,060	1,976	1,000		
	成果指標(2)		m ²	11,433	11,433	11,433	9,714	9,714		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,802	23,614	16,593	16,568	16,274	特記事項 14年6月に富士見ヶ丘苗圃を土地所有者に返還したため、苗圃面積は減少した。成果指標(1)の緑化活用苗木本数については、苗圃から苗木配布や公共施設緑化用に供給した本数である。	
	(内)委託費		千円	19,041	16,776	15,777	15,775	15,469		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.30	0.30	0.20	0.30		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,817	2,725	2,725	1,817		2,725
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 ++		千円	21,619	26,339	19,318	18,385	18,999		
	単位あたりコスト ÷		円	1,411	1,721	1,262	1,779	1,838		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	21,619	26,339	19,318	18,385	18,999			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区営苗圃の開設当初は失業対策事業との関連があったが、事業の廃止により苗圃運営が委託化された。また、区営苗圃の数は事業開始以降6箇所に増えたが、富士見ヶ丘苗圃については返還請求に伴って14年6月に廃止した。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		近年は、福祉施設関係者の果実収穫体験や、みどりの講座の剪定実習を行い、利用者に好評である。							
	今後の予測		緑化啓発活用苗木として、苗木の種類や形状について充実を図る。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	67.5	活動指標(2)の14年度達成率%	85.0	14年度予算執行率%	99.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)、(2)の達成率の減少については、富士見ヶ丘苗圃の返還によるものである。また、土地所有者の返還要請の動向により、苗木育成の本数を控えたためである。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 緑化用苗木の育成場所・寄付樹木の仮植受け入れ場所として、苗圃は重要な役割を担っている。(迅速な苗木の供給と受け入れに貢献している。)				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 緑化の普及啓発保全事業者として区が行う。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由: 公共施設の緑化用苗木の供給も補植規模のものが多く、公共施設の新設が減少している現在、苗木の供給増加は望めない。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 民有地の苗圃は無償借地であるため受益者負担の見直しの考えはない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	民有地は借地契約に基づくものであるため。				
	(6) コストを下げる余地はありますか	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 13年度の見直しを踏まえ引き続き苗圃の円滑な運営を図っていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緑化の助成				整理番号	681		枝番号			
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908	連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	606		
係名		みどりの事業係			上位施策名				No			
予算事業名		みどりを創る		コード	64100	水辺とみどりの保全・創出				12		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第2条 (2) 杉並区接道部緑化助成要綱 (3) 杉並区屋上・壁面緑化助成金交付要綱							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	接道部緑化助成は道路に接した敷地部分を生けがき等にする個人の方 屋上・壁面緑化助成は屋上・壁面を緑化する建築物の所有者または管理者											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)							
接道部緑化助成は道路に接した敷地部分を生けがき等にする場合、既存の塀の撤去費用と生けがき等を造る費用の一部を助成する。屋上・壁面緑化助成は建築物の屋上またはベランダの全部または一部に緑化区画を設けて植栽したもの、建築物の壁面に原則として補助器具等（ネットなど）を設置しつる性植物や樹木を壁に添わせたものに造る費用の一部を助成する。				(1) 接道部緑化助成延長累計 (2) 屋上・壁面緑化助成面積累計								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)								
この助成事業によって、道路沿いの生けがき化や屋上・壁面緑化を行いやすくする。				(1) (代)接道部緑化助成件数 (2) (代)屋上・壁面緑化助成件数								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%
			計画	実績	計画	実績	計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		m	2,620	2,940	3,440	3,414	3,914				
	活動指標(2)		m ²			475	77.2	475				
	成果指標(1)		件	35	30	50	27	70				
	成果指標(2)		件				2					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,546	2,578	14,709	5,141	15,171	特記事項 杉並区屋上壁面緑化助成制度については平成14年10月1日に開始した。屋上・壁面緑化助成の活動指標については、壁面緑化助成の件数が無いため屋上緑化の面積累計のみを計上した。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.50	0.60				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,725	2,725	2,725	4,542				5,450
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	6,271	5,303	17,434	9,683	20,621				
	単位あたりコスト ÷		円	2,394	1,804	5,068	2,836	5,269				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	6,271	5,303	17,434	9,683	20,621					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		接道部緑化助成については平成11年度までは、生けがきだけが対象であったが平成12年度から新たに植樹帯やフェンス緑化も助成の対象となった。そのことにより助成件数が増加してきている。なお、平成14年度実態調査では接道部緑化率19.5%であった。屋上・壁面緑化助成については平成14年10月1日にできた制度で当初より問い合わせ、相談が多く寄せられている。平成14年度は年度途中でできた制度なので実績は少ないが平成15年度は大変好調なスタートを切っている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		助成金に関することや助成要件の緩和、手続き方法、予算規模に関する意見や要望が出されている。なお、屋上緑化に関しては平成14年度実態調査のアンケートでは、67%の人が賛同している。また、実際に屋上緑化制度を利用したいと答えた人は27%であった。									
	今後の予測		ヒートアイランド現象の緩和や防災、緑視景観の向上の観点からこの事業の必要性がますます高まってくると思われる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	99.2	活動指標(2)の14年度達成率%	16.3	14年度予算執行率%	35.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の件数により予定していた件数より助成件数が少ないのはPR不足によるものと思われる。ただし1件当たりの生けがき延長が長いため成果指標については目標をほぼ達成している。活動指標(2)の件数については制度自体が年度途中より始まっていることから準備期間が少なく助成金を交付するまでにいたらなかったことが原因と思われる。予算執率については14年度申請に対して未完了件数が多かったため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	接道部緑化助成については平成15年度より生けがきの形状規定を明確化し、新たに生けがき、フェンス緑化、植樹帯の改修に対しても助成金を定め交付することとした。屋上・壁面緑化助成については広くPRするためのチラシを作成し普及に努める。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: まちのみどりが減少する中で、道路に接した敷地を緑化することは緑視率の向上につながり、貢献度は大きい。また屋上・壁面緑化についてはヒートアイランド現象を緩和する効果や地球温暖化を防止する効果があり、貢献度は大きい。更に都市化の進んだ区内、特に商業地域における緑地の確保という意味において重要な役割を果たす。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 接道部の緑化推進やまちの防災性の向上、ヒートアイランド現象の緩和のための緑地の確保については区が積極的に誘導支援していく必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 緑被率を増加させるためには接道部緑化助成、屋上・壁面緑化助成を推進していく必要がある。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どういうかたち) 屋上・壁面緑化については申請件数が多く、助成できる件数が限られていることから、より広くを対象にするため助成金の限度額の引き下げを含め検討する。 接道部緑化助成についてはPRの徹底に努めていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 限度額100万円は申請手間が大変だとしても魅力的である。限度額を下げた場合、手間の方がかかるようだと申請件数が減少すると思われる。限度額の適正な額について検証をする必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	初年度予算額は区長査定により倍増されているため、予算内でより多くの人に利用してもらう制度に改正する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保護樹木・保護樹林・保護生けがき・貴重木補助			整理番号	683	枝番号						
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908	連絡先電話番号	3466	昨年度整理番号	611,612				
係名				みどりの事業係		上位施策名		No					
予算事業名				みどりを守る		コード		64300	水辺とみどりの保全・創出	12			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第11条						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) みどりの条例施行規則 第3条						
	一定基準以上の樹木、樹林、生垣を所有する個人・法人				(3) 杉並区貴重木保全事業実施要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)								
区内に現存する一定基準以上の樹木等を所有者の同意を得て区が保護指定し、維持管理に要する経費の一部を補助する。貴重木については所有者と一定期間(10年以上)の保全協定を結び、経費の一部を補助するほか、必要に応じて樹木医の派遣や支障となる枝の剪定も行う。なお、貴重木は、平成14年度までに50本を指定し、今後はその本数を維持する。				(1) 保護樹木、樹林、生垣の件数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)									
区で標識を設置し補助金を交付することによって地域住民に保護すべきみどりであることを周知し、所有者が樹木等の維持管理をしやすくなる。貴重木については、必要に応じて樹木医の派遣や支障枝の剪定を区が行うことで、長期にわたり保全することができる。				(1) 継続率:(前年度保護樹木本数 - 今年度解除本数) ÷ 前年度保護樹木本数*100									
				(2) 継続率:(前年度保護樹林m ² 数 - 今年度解除m ² 数) ÷ 前年度保護樹林m ² 数*100									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		計画	年度		
指標	活動指標(1)		件	763	743	743	750	750					
	活動指標(2)		m ²	632,916.82	622,640.49	622,640.49	621,181.49	621,181.49					
	成果指標(1)		%	93.8	95.6	100.0	98.9	100.0					
	成果指標(2)		%	95.0	98.4	100.0	99.8	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	31,153	30,647	39,696	30,758	39,795	特記事項				
	(内)委託費		千円	149	1,003	2,637	200	2,657	補助金交付額 保護樹木1本につき6,000円(法人1本につき2,000円) 保護樹林(屋敷林、樹林) 1万m ² 以下の部分100m ² あたり6,000円 1万m ² を超える部分100m ² あたり3,000円 (寺社林、私立学校林) 1万m ² 以下の部分100m ² あたり1,000円 1万m ² を超える部分100m ² あたり500円 保護生けがき 1mあたり600円(法人1mあたり200円) 貴重木1本につき6,000円 損害保険 対人賠償1名につき5,000万円まで1事故につき2億円まで 対物賠償1事故につき2,000万円まで				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.60	1.30	1.30	1.20	1.30					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,450	11,808	11,808	10,900	11,808				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	36,603	42,455	51,504	41,658	51,603					
	単位あたりコスト ÷		円	47,972	57,140	69,319	55,544	68,804					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	36,603	42,455	51,504	41,658	51,603						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和48年度に保護樹木を88本指定し、平成14年度には1,701本に増加した。また、保護樹林は176,000m ² から621,181.49m ² に増加した。保護生けがきは昭和50年度に1,802m指定したが、平成14年度には5,456.5mに増加した。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		指定樹木に関わる日照問題、落ち葉の問題による近隣とのトラブルが少なくない。また、所有者の高齢化や、樹木管理経費のことで、個人として維持することが困難となってきている。それらのことから、行政や地域の積極的な支援が期待されている。										
	今後の予測		今後も相続や規制緩和などによって開発や宅地の細分化が進み、指定樹木の保全がますます困難になると予測される。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.9	活動指標(2)の14年度達成率%	99.8	14年度予算執行率%	77.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	保護樹林面積が減少した理由は、建築計画によりやむをえず伐採されたものである。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	制度の理解と協力を得るため、広報によるPRを行なった。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由：この制度は、所有者の同意を得て保護指定を行うものであるが、所有者の事情によって簡単に解除の手続きができる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：個人の財産であるが、区民共有の財産として区が行う必要がある。また、今後は近隣区民の協力のもと、清掃や剪定などの地域管理のあり方を検討する必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：所有者は、近隣の苦情や経費等みどりの保全に多大な負担がある。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：所有者の同意のもとで保護する樹木・樹林・生けがきであるため。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：現在の補助金額は樹木を維持するための費用の一部であるため、増額の要望が多い。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	保護指定制度に対する住民の理解と協力を得るために、事業目的や効果についてのPRを強化していく。事業案内書の作成及び広報等によりPRを行う。PRを工夫して行なうため、予算の増減はない。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緑化指導			整理番号	685		枝番号						
所属部課名		都市整備部公園緑地課			コード	221908		連絡先電話番号	3465					
係名		みどりの事業係			上位施策名			昨年度整理番号	613,614					
予算事業名		みどりを守る			コード	64300		水辺とみどりの保全・創出		12				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 48年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第19条 (2) 杉並区公共施設緑化推進要綱 (3) 寄付樹木取扱要領									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 一定規模以上の建築行為を行う個人、事業者。													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内のみどりを守り増やすため、200㎡以上の敷地で建築行為等を行うものに対し、緑化計画書の提出を求め、用途地域に応じた緑化指導を行う。また、建築計画等により不要になった樹木を寄付したいとの申し出があった場合、基準を満たしたものであり受け取ることが可能であれば、樹木を受領し公共施設に移植する。				活動指標名(式) (1) 緑化計画書受理件数 (2) 寄付樹木受領本数									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 建築行為の際に、みどりの重要性を認識してもらい、敷地内の緑化推進をはかっていく。また、寄付樹木制度を活用することにより、既存樹木を伐採せずを守る。				成果指標名(式) (1) 緑化された率 (緑地面積 ÷ 敷地面積 * 100) (2) 計画実行率 (受領本数 ÷ 受領計画本数 * 100)									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
							計画	実績	年度					
指標	活動指標(1)		件	594		554		600	622	600				
	活動指標(2)		本	60		50		100	124	100				
	成果指標(1)		%	19.0		19.9		20.0	20.1	20.0				
	成果指標(2)		%	40		50		100	124	100				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,015		3,018		2,928	2,817	2,984	特記事項			
	(内)委託費		千円	2,998		2,999		2,700	2,699	2,700				
	職員数(正規 非常勤)		人	2.60		2.70		2.70		2.75			2.60	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	23,616		24,524		24,524	24,978		23,616		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0		0		
	総事業費 + +		千円	26,631		27,542		27,452	27,795	26,600				
	単位あたりコスト ÷		円	44,833		49,715		45,753	44,686	44,333				
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0		0		
差引:一般財源 -		千円	26,631		27,542		27,452	27,795	26,600					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開発による宅地化と敷地の細分化が進んでいる。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		大規模開発に伴う地域の貴重なみどりの伐採に対して、周辺住民から心配の声がたびたび挙がっている。そのため、区の積極的な緑化指導を求める住民要望が多く聞かれるようになってきた。											
	今後の予測		今後も相続や規制緩和などにより宅地の細分化や規模の狭小化が進行し、緑化指導の重要性がますます高まってくると予測される。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	103.7	活動指標(2)の14年度達成率%	124.0	14年度予算執行率%	96.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	緑化指導について広報によるPRを行なった。また、緑化計画書の作成の手引き書を分かりやすいものにするため、見直しを行なった。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：緑化指導を行うことにより、大幅なみどりの減少に歯止めをかけ、一定程度のみどりの保全・創出が可能になる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：行政事務として実施する事業である。なお、東京都にも緑化指導の制度があるが対象となる敷地の規模が大きく、地域特性に応じたきめ細かな指導は区で行うべきである。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：緑化はすべて区民、事業者の負担で行われている。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：成果を上げるためには対象を拡大する必要がある。しかし、対象は23区の中でも広く、これ以上対象を広げるのは適切でない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：必要最小限の経費で事務を行っている。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 成果を向上させるためには、緑化基準の見直しを行う。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 緑化と緑地の造成・維持管理はすべて区民、事業者の負担で行なわれるものであるため、無理なく計画できる基準を作成する必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 規模の大きな既存樹木の保全・活用については、建築計画前の十分な検討が必要である。そこで、大きな既存樹を保全していくためのPRの強化や緑化指導の徹底をはかっていく。PRの内容を工夫して行なうため、予算見積の増減は特にない。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生き物生息場所の保全創出				整理番号	687		枝番号						
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221098		連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	616				
係名		みどりの事業係				上位施策名			No						
予算事業名		みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全・創出			12					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第2条										
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)										
	区立施設等				(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区の貴重な植物を保全・創出するため、公共施設等の敷地の一角に貴重種の生息場所を設ける。				活動指標名(式)										
				(1) 保全箇所数											
				(2) 創出箇所数											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 貴重な植物等を区民へ周知するとともに全員で大切に保全していく。				成果指標名(式)											
				(1) 保全できた箇所数 ÷ 保全予定箇所数											
				(2) 創出できた箇所数 ÷ 創出予定箇所数											
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度計画		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
											22年度				
指標	活動指標(1)		所			1						2	0.0		
	活動指標(2)		所					1		2		2	14	14.3	
	成果指標(1)		%			100									
	成果指標(2)		%					200							
総事業費・コスト把握	事業費		千円			0		1,030		493		1,030		特記事項 ・13年度はカタクリを保全(1箇所) ・14年度はオギを創出(2箇所)	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人			0.20		0.20		0.20		0.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0		1,817		1,817		1,817		1,817		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	0		1,817		2,847		2,310		2,847			
	単位あたりコスト ÷		円			1,817,000									
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	0		1,817		2,847		2,310		2,847				
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		始まったばかりの事業であり、特に変化はない。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		住民からの要望・意見等はあまり聞かれないが「みどりのボランティア」からは協力的な意見が出されている。												
	今後の予測		みどりを取り巻く自然環境は悪化すると予想され、杉並区の地域特性に合った貴重な種を保全することは生態系の観点からも重要な意味を持つようになる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%		活動指標(2)の14年度達成率%	200.0	14年度予算執行率%	47.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)		理由：失われつつある貴重な生き物を保全することができる。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)		理由：当面は公共施設などへ生息場所を設けるため、区が行う必要がある。			
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ		理由：			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)		理由：直接区民が受益者とはいえないため、見直しの余地はない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)		理由：公共施設が対象であるため。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)		理由：区民の参加などにより、施工費や管理費の削減をはかることが可能である。			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 積極的に区民や学校の参加により、多様な植栽計画の立案やきめこまやかな維持管理をはかる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民や児童の植物に関する知識や管理技術の向上をはかり、貴重な植物の保全を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 オープンスペースの確保など生き物生息場所の規模拡大が見込めないため。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		市民緑地の設置及び管理				整理番号	688		枝番号				
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908		連絡先電話番号	3466		昨年度整理番号	617		
係名		みどりの事業係				上位施策名			No				
予算事業名		みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全・創出			12			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市緑地保全法 第20条の2 (2) みどりの条例 第2条、第11条 (3) 杉並区市民緑地「いこいの森」の設置及び管理に関する要綱								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 300㎡以上の良好な樹林地等の所有者												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 良好な生活環境の形成をはかるため、区内の樹林地を区が長期間借り上げ、区民が利用する市民緑地として管理し公開する。				活動指標名(式) (1) 市民緑地面積 (2) 市民緑地設置数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 樹林地を区に貸すことによって、所有者が固定資産税の免除などの税制措置を受けることができ、その樹林地を保全しやすくなる。				成果指標名(式) (1) 樹林等の保全率(市民緑地管理面積÷市民緑地面積*100) (2)									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		㎡	2,112		2,112		2,112	2,112	2,112			
	活動指標(2)		箇所	2		2		2	2	2			
	成果指標(1)		%	100		100		100	100	100			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	164		195		220	214	220	特記事項		
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15		0.10		0.10		0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,362		908		908	908	908		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0		
	総事業費 ++		千円	1,526		1,103		1,128	1,122	1,128			
	単位あたりコスト ÷		円	723		522		534	531	534			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	1,526		1,103		1,128	1,122	1,128				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		個人所有の樹林で最も面積の大きいものは屋敷林であるが、マンションや駐車場などの建設に伴い伐採され、面積が減少するとともに狭小化が進んでいる。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		現在、2箇所の市民緑地(いこいの森)が公開され区民利用が行われているが、犬の放し飼いに対する苦情等が寄せられている。										
	今後の予測		今後も、開発や宅地化の進行により、昔ながらの屋敷林は減少していくと予測される。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	97.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	樹林地の所有者との市民緑地契約ができるように、広報等とおして制度のPRに努めている。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：貴重な樹林を守るとともに、区民がそれを利用し豊かな区民生活ができるようになる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：市民緑地制度は区が行う仕組みである。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：市民緑地は無償借地であり、区民に公開する制度であるため、見直しの考えはない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：都市緑地保全法で定められた300㎡以上の樹林地が対象の要件で、対象を変更することは難しい。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：所有者からの無償借地であり、自然な状態の林を区民に公開することを目的としているため、施設の設置は極力行わず、維持管理経費も最小限にして管理している。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 区内の貴重な樹林地については、所有者の理解と協力が得られるよう、積極的なPRに努めていく。また管理についてはみどりのボランティア活動などとの連携を進めていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 市民緑地制度について積極的にPRするとともに、開発や宅地化を防止するため、将来的には区が買い取り公園緑地化していくことも検討していく必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	所有者の理解が得られるよう、積極的なPRに努めていく。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園維持管理				整理番号	690		枝番号		
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3452		昨年度整理番号	759
係名		公園整備係			上位施策名				No		
予算事業名		公園維持管理		コード	62700		公園づくり				13
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				32 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 区立公園条例						
	区立公園(292園) 公園建設予定地(2所)				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区立公園施設の機能を維持するため、施設の維持補修・維持管理・清掃などを行う。				活動指標名(式)						
				(1) 区立公園管理面積							
				(2) 区民要望件数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 公園の持つ機能を維持することにより、利用者の安全で快適な利用を確保する。				成果指標名(式)							
				(1) 要望処理率(要望処理達成件数 / 要望件数)							
				(2)							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		㎡	471,644	471,748	471,748	472,039	472,624			
	活動指標(2)		件		1,815		1,594				
	成果指標(1)		%		99		100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	656,495	452,260	452,514	466,808	473,093	特記事項		
	(内)委託費		千円	525,644	328,010	313,011	320,776	303,205	職員数(14年度実績・15年度計画)は南・北公園緑地事務所分の人員を関与する事務事業に割り振るため見直しを行い、再配分したので、人員が増減する。同様に非常勤も見直したので増加した。また、平成14年度委託費実績で16,559千円増えているが臨時的なものである(杉並児童交通公園内D51形蒸気機関車整備委託)。一方、12年度の活動指標(2)及び成果指標(1)は旧組織(3課5係が関連)のため、分類方法が13・14年度と相違し比較できず、記載できなかった。		
	職員数(正規 非常勤)		人	26.85 12.00	33.05 12.00	33.20 42.00	33.08 44.80	32.78 43.80			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	243,879	300,193	301,556	300,466			297,741
		非常勤職員分		千円	35,220	35,220	123,270	131,488			128,553
	総事業費 + +		千円	935,594	787,673	877,340	898,762	899,387			
	単位あたりコスト ÷		円	1,984	1,670	1,860	1,904	1,903			
	財源	受益者負担分		千円	9,533	10,333	7,141	7,334			7,141
		国・都等からの支出金		千円	3,000	1,489	0	0			0
		特定財源計 +		千円	12,533	11,822	7,141	7,334			7,141
差引:一般財源 -		千円	923,061	775,851	870,199	891,428	892,246				
受益者負担比率 ÷		%	1.0	1.3	0.8	0.8	0.8				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当初は公園数も少なく、施設も多くなかった。その後公園数の増加に伴い様々な公園施設も整備され、利用者も増加している。これに伴い公園に関する要望も多くなっている。そのため、施設の良い維持管理や安全対策、迅速かつ的確な区民対応を行っていくことが以前にもまして重要な課題となっている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		四季を感じることのできるみどりのオープンスペースがあるのはうれしい。近隣にお住まいの方からは、ごみの不法投棄、夜間利用による騒音、路上生活者による不正利用等について苦情が寄せられている。また、施設の老朽化に伴う改修要望や樹木の生育に伴い、枝の隣地への越境、日陰などの苦情が大変多くなっている。								
	今後の予測		少子高齢社会の進展により利用者層が変化し、また、区民の地域活動の高まりなど、その活動の場として公園利用が増加し、変化すると予測される。区民要望においても、地域にあった特色ある公園づくりが求められ、それに伴い公園維持管理は多様性と質の向上が求められ、役割はより重要になる。また、NPO等との協働やアダプトプログラム(公園の里親制度)の導入等新たな公園管理運営体制の検討も必要である。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

		活動指標(1)の14年度達成率%	100.1	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	103.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		平成14年度予算超過の理由は、老朽化が著しい杉並児童交通公園内のD51形蒸気機関車を整備する費用及び施設修繕費に不足が生じた為、予算流用をした。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)		区立公園の安全性、快適性などの確保、公園の維持管理のあり方を改めて見直していくための「杉並区公園維持管理指針」を策定した。また、地域住民による地域ボランティアを組織化するなどして、区民が公園などのみどりにふれあう機会や場を提供するとともに、区と区民との協働することにより、これまで以上にきめ細かな維持管理を図っている。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:公園は都市環境の改善、防災、景観、健康・レクリエーションなどの機能を持ち、これを適正に維持管理することにより、機能を最大限発揮できる。					
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:公園の管理は、NOP等への委託やアダプトプログラムの導入など区民等との協働による管理が求められている。しかし、区立公園の同等な安全・快適の管理を行うためには、区民等との役割分担を明確にし、区が主体的に行う必要がある。					
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:					
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	特殊な施設を除き、公園利用の受益者負担を見直す余地はない。					
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	良好に公園施設を維持するための事業である。					
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	公園施設の維持であり、必要なコストである。					
今後の事業のあり方		<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 区立公園の安全性、快適性などの確保について、昨年度策定した「杉並区公園維持管指針」を地域社会の変化により適宜見直していき、より計画的かつ区民ニーズに合った維持管理を目指す。また、将来的には、各公園の特色を活かした個々の維持管理マニュアルの整備を目指す。アダプトプログラムに関しては、平成16年度の導入を目指して現在検討中である。当初の導入には難しいが、将来的には全区立公園について導入を目指す。また、NPO等との協働など、地域に即した方策を取り入れ、地域密着の公園管理運営を行う。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 公園維持管理に対する予算額の圧縮により、十分な維持補修が実施しにくくなっている。本事業の実施手法等を見直しながら、最小限の経費で計画的な事業推進を行う。また、区立公園の管理運営は、行政が全てを行うのではなく、地域ができることは地域で、行政が主体となった方が効率的なものは行政で、それぞれが役割を分担するという意識を持ってもらう必要があるが、現状は全てを行政が担当するものだという意識が強い。アダプトプログラムのモデル地区をスタートさせ、その活動をPRすることにより、地域の意識の高まりを援助する。						
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 昨年度策定した「杉並区公園維持管理指針」に基づいた計画的な維持管理を行うには、経費増が必要である。ただし、園地清掃に関しては、平成16年度から全区域が地域別ブロック方式清掃委託が導入されるため、経費の削減が行える。						

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区立公園の維持管理(花咲かせ隊を除く)				整理番号	692	枝番号	2	
所属部課名		公園緑地課		コード	221903	連絡先電話番号	3456	昨年度整理番号	761	
係名		公園事業係			上位施策名			No		
予算事業名		公園維持管理		コード	62950	公園づくり			13	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例 (3)					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他									
	深夜から早朝のサッカーや花火など不適切な公園利用で被害を受けている公園近隣住民など。									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 夏休み期間中、夜間の公園警備を委託する。休前日は2人2班体制で苦情の多い公園を中心として40箇所をパトロールする。又、平日は2人1班で重点公園の10箇所を中心としたパトロールを行う。				活動指標名(式) (1) 夜間警備対象公園数 (2) 夜間警備委託日数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区立公園が安全で安心して地域の公園として利用される場とする為。				成果指標名(式) (1) 区立公園に対する警備対象公園の比率 (2) 年間の警備委託日数の比率						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		18年度		
指標	活動指標(1)		園	36	38	38	40	308	12.3	
	活動指標(2)		日	13	13	13	45	365	3.6	
	成果指標(1)		%	12	12	12	13	100	12.0	
	成果指標(2)		%	3	3	3	12	100	3.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,281	1,518	1,391	3,414	特記事項 係の人員は休職を除いて4人(係長含む) 警備委託を含む利用指導には1.2人を計上している。ただ夜間の利用指導については職員配置は行っていない。		
	(内)委託費		千円	1,281	1,518	1,391	3,414			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.20	1.20	1.20	1.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	10,900	10,900	10,900			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	12,181	12,418	12,291			14,314
	単位あたりコスト ÷		円		338,361	326,789	323,447			357,850
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	12,181	12,418	12,291	14,314			
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成13年度の集計で公園緑地課に寄せられている要望、苦情2,228件の内、公園利用に関する要望苦情は315件ある。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		公園の深夜、早朝の警備に関する要望は非常に多い。特に駅周辺などにおいては公園の夜間閉鎖の要望も出ており、今後も公園の警備に対しての希望は増大すると想定される。14年度は集計中。							
	今後の予測		住民の生活が多様化した現在では地域の平安を取り戻す為には、区立公園全部を対象としてパトロールを実施する時期にきている。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	91.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平成15年度はパトロール体制を金曜日、土曜日の2日間を3班体制で行う計画であったが、この間の区民要望の増大は平日の夜の利用に関する要望も多くなったのに答える為、1班を重点公園のパトロールとして機動的な運用を行うこととした。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:安全安心まちづくりに貢献する事業である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:大きくは警察や地域の町内会などの協力が必要であるが、その役割分担の基礎的な部分は区の事業である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:警察や地域団体などとの協力で成果を高められる。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:施設管理者の基礎的な事業である。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(事業の統廃合)	理由:				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 年間を通して24時間機動的な対応ができる体制をつくり、区立公園が迷惑施設として存在するのではなく地域に愛される公園として管理の水準をあげ区立公園への信頼を回復する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 効果的な運用を行うためには地域の理解と所轄警察署の協力体制を十分に構築する必要がある。又地域の安全を守る為自警団のような組織の活動の検討も必要である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 現在の夏休み期間中だけでなく通年で事業実施と重点公園については密度の濃いパトロールを行う必要がある。また中長期的な体制づくりのためにも、警察OB等の専門職員の配置も検討する必要がある。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区立公園事務所の管理運営				整理番号	693		枝番号	1					
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221901		連絡先電話番号	3442		昨年度整理番号	761				
係名				管理係		上位施策名				No					
予算事業名				公園緑地事務所維持管理		コード	57100		公園づくり		13				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		47年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例 (3) 杉並児童交通公園等の管理運営に関する規則、大田黒公園の管理運営に関する規則、井草森公園駐車場の管理運営に関する規則								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
	公園緑地事務所(2所)、公園管理事務所(6所)。				活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)						
	公園緑地事務所、公園管理事務所の運営管理を行う。								(1) 対象事務所数 (2) 対象管理面積						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				公園緑地事務所、公園管理事務所の運営管理を行い、公園維持管理ほか他事業の事業執行を円滑にする。				成果指標名(式)							
								(1) (2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
							計画	実績	計画	年度					
指標	活動指標(1)		園	3		3		8		8					
	活動指標(2)		m ²	3,381		3,381		5,650		5,650					
	成果指標(1)														
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,237		11,525		24,607		21,497		23,319		特記事項 平成15年度の事務事業評価対象項目を変更したため、平成14年度は平成15年度の評価対象項目で記載した。 また、非常勤職員数についても、事務事業評価の対象を変更したため、数値を本評価事務に関する職員数とした。	
	(内)委託費		千円	7,130		7,599		8,092		7,487		10,232			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	16.00	0.40	19.00	0.40	6.00	1.30	5.60	1.30	5.60		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,633		3,633		3,633		11,808		11,808			
		非常勤職員分	千円	46,960		55,765		17,610		16,436		16,436			
	総事業費 + +		千円	61,830		70,923		45,850		49,741		51,563			
	単位あたりコスト ÷		円	20,610,000		23,641,000		5,731,250		6,217,625		6,445,375			
	財源	受益者負担分		千円	9,533		10,333		7,141		2		9		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	9,533		10,333		7,141		2		9		
差引:一般財源 -		千円	52,297		60,590		38,709		49,739		51,554				
受益者負担比率 ÷		%	15.4		14.6		15.6		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区立公園の表面管理を円滑に行うため、東・西・南・北公園事務所を廃止させ、公園の不具合や要望等に即時対応ができるようになった。その後、4公園事務所は、4土木事務所と統廃合し、東・西・南・北土木公園事務所として、土木施設の管理を行ってきた。現在は、土木事務所と切り離し、南・北公園緑地事務所として区立公園の管理を担当している。また、公園管理事務所については、昭和47年4月杉並児童交通公園管理事務所を初めに、順次大規模な公園に管理事務所を設置し、密な管理を行っている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		管理事務所に対する区民の期待は大で、公園利用や遊びの指導を望む声もある。												
	今後の予測		公園数が増加する中で、公園緑地事務所の管轄範囲の拡大や区民要望の多様化等により、公園緑地事務所に対する期待はますます高まるばかりである。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	87.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	地下駐車場機器使用料のリース期間満了により、使用料が減額となった。また、光熱水費の使用量減により、執行率は表記のとおりである。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	公園管理事務所については、管理運営のあり方を引き続き検討中。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由:公園は、都市環境の改善、景観、レクリエーション機能を持ち、また、災害時には一時避難場所の防災機能も持っている。公園緑地事務所、公園管理事務所が公園の適正な維持管理を行うことで、区民が安心して暮らせる都市環境づくりにつながっている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由:区立公園は、現在、300園弱を公園緑地事務所が管理しており、安全で快適な公園を供用するためには、公園緑地事務所の運営は、区が行うのが妥当である。なお、公園管理事務所については、NPO等民間組織に委託することも考えられるが、他の公園と同等な供用を行うために、また、即座の対応を行うためには現地事務所の運営は必要である。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他 ▼	理由:一つ一つの事業について、事務改善等を意識しコストダウンに努める。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由:本事業の受益者負担は、事務所の管理人室の光熱水費負担金と私用電話使用料であり、見直しの余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか できる(改革案の概要へ) ▼	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(OA化) ▼	理由:公園緑地事務所には各2台のパソコンが配置されているが、本庁と同様に職員一人1台を配置、また、管理事務所には配置されていないが最低各管理事務所に1台配置されれば、用紙の減量や交換便の減数が期待できる。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 公園の適正な維持管理を行うためには、公園緑地事務所・公園管理事務所の効率的な管理運営が必要である。常に、費用対効果を意識した運営を行う。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 常に事務改善を行っているが、パソコンを配置できれば一層の事務改善が可能である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	公園緑地事務所、公園管理事務所の管理運営については、当面現状のまま運営し、区立公園の維持管理に資する。なお、平成16年秋には、(仮称)杉並南中央公園の開園を予定しており、当該公園は区内で最大の公園となるため、管理事務所の設置も予定している。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		花咲かせ隊				整理番号	693		枝番号	2	
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221903		連絡先電話番号	3456		昨年度整理番号	763
係名		公園事業係				上位施策名			No		
予算事業名		公園維持管理		コード	62950		公園づくり			13	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 公園などで区と協働で花壇づくりを行う地域の団体(5名以上)				(2) 杉並区立公園条例						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 広報による募集、審査を経て希望の場所を決定する。各「花咲かせ隊」と覚書を締結後、区は花材を提供し各花咲かせ隊はそれぞれ創意工夫しながら花の植付けや花壇の管理をする。				活動指標名(式) (1) 花咲かせ隊への参加団体数 (2) 花咲かせ隊の参加による花壇数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 花壇づくりなどの緑化活動を行うことで、区立公園がより区民に親しまれるとともにその利用の拡大を図る。				成果指標名(式) (1) 花咲かせ隊による花壇管理面積 (2) 区立公園にたいする花咲かせ隊が参加している公園の割合							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		16年度			
指標	活動指標(1)		団体	20	40	60	53	80	100	53.0	
	活動指標(2)		個所	20	40	60	53	80	100	53.0	
	成果指標(1)		m ²	80	160	240	212	320	400	53.0	
	成果指標(2)		%	7	14	20	18	27			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,000	1,981	3,540	3,534	4,699	特記事項		
	(内)委託費		千円						職員数については平成12年度は公園管理係で0.1人公園事務所で0.2人で計0.3人。平成13年度、14年度は公園事業担当で0.3人各公園緑地事務所0.1人づつ計0.5人。平成15年度は公園事業係で0.4人各公園緑地事務所0.1人づつ計0.6人とする。事業費は花壇コンクールと講師謝礼、ボランティア保険料を含んでいる。		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.50	0.50	0.50	0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,725	4,542	4,542	4,542			5,450
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	3,725	6,523	8,082	8,076	10,149			
	単位あたりコスト ÷		円	186,250	163,075	134,700	152,377	126,863			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	3,725	6,523	8,082	8,076	10,149				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度開始の事業である。当初の20団体より今年度は7月現在で63団体486人が活動している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		花咲かせ隊に関する区民の関心は高い。活動を紹介するパネル展示などでも多くの好意的な意見を頂いている。								
	今後の予測		花咲かせ隊に関する認識の深まりとともに、参加者は着実に増えてくると予測される。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	88.3	活動指標(2)の14年度達成率%	88.3	14年度予算執行率%	99.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	平成15年度は14年度からの参加希望団体の増加を踏まえ80団体とした。又その活動をパネル展示などで多くの区民に対して花咲かせ隊参加者の発表の場とするとともに、区立公園への区民の関心と理解の深まりに貢献している。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 区民がつくる「みどりの都市」杉並の実践事業である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区民との協働による実践である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 対象の拡大	理由: 区民参加の機会が増えるとともに「花咲かせ隊」の活動をきっかけにして公園の住民管理、里親制度への取り組みの手がかりとなる。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 受益者は区民全体であり「花咲かせ隊」の参加者はその推進者である。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 費用は効率的な執行を行っている。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 花咲かせ隊の活動を花壇管理に限定するのではなく広く公園管理について地域住民と取り組むことで、区主体の公園管理から住民との協働によるその地域にあった特色ある公園づくりがすすめられる。このことを進めるには対象公園を増やすことが必要である。当面は100箇所での実施を目標とする。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 効率的な執行体制で区が対応しないと事務経費が増加する危険がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 当面の区の執行体勢の中で効果的と想定される100箇所での活動を推進し区内全域で1000人規模の区民参加を実現する。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		遊び場対策				整理番号	694		枝番号	
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902	連絡先電話番号	3452		昨年度整理番号	766
係名		公園整備係			上位施策名			No		
予算事業名		遊び場対策		コード	63100		公園づくり			13
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 46 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱 (2) 先行取得用地の活用と管理について (3)					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区立遊び場(16ヶ所)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 先行取得用地、企業の遊休地、地主の好意による提供用地を活用し、区立公園の補完施設に位置づけ、一時遊び場として開放し、その施設維持管理・清掃などを行う。				活動指標名(式) (1) 遊び場管理面積 (2) 区民要望件数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 遊び場の持つ機能を確保し、利用者が安全で快適に利用する。				成果指標名(式) (1) 要望処理率(要望処理達成件数 / 要望件数) (2)					
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		m ²	13,974	13,266	13,266	13,003	41,953		
	活動指標(2)		件		59		27			
	成果指標(1)		%		100		100			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,555	13,707	10,678	10,012	14,093	特記事項 15年度活動指標計画数値は桃井原っぱ広場(28,950m ²)を開設したことによる増。 また、12年度の活動指標(2)及び成果指標(1)は旧組織(3課5係が関連)のため、分類方法が13・14年度と相違し比較できず、記載できなかった。	
	(内)委託費		千円	15,429	8,833	6,831	6,105	6,048		
	職員数(正規 非常勤)		人	2.68	2.80	2.80	1.62	1.82		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	24,342	25,432	25,432	14,714	16,531		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	42,897	39,139	36,110	24,726	30,624		
	単位あたりコスト ÷		円	3,070	2,950	2,722	1,902	730		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	42,897	39,139	36,110	24,726	30,624			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		公園整備が急がれていた昭和46年、公共施設建設などのため先行取得した用地を一時公園の補完施設として活用していた。その後、民有借地などへ拡大してきたが、開設が長期化している。また、現存の遊び場は、本格整備が行われないまま老朽化が進んでいる。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		近くに、子どもが安心して遊べるところがあるのはうれしい。狭く小さな遊び場に対して、近隣にお住まいの方からは、騒音などの苦情が多い。また、廃園の際には、身近な遊び場がなくなることを懸念する意見が出され、公園化を求められることが多い。							
	今後の予測		今後、地主の相続等による返還の申し出が多く出ると予測される。また、長期化した施設のため、公園化の要望が多くなると考えられる。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	98.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	93.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	理由は事業未執行及び各節執行残によるため				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	遊び場について、利用状況、土地の権原、周辺の公園緑地の配置状況等を見ながら、1.区立公園化、2.遊び場として存続、3.土地の返還にそれぞれ分け、再整備等の検討をしていく。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 小(理由 改革案の概要へ)	理由: 区立公園も現在では293園あり、区内の配置状況も一部地域を除き適正に近づいてきており、区立公園を補完するための遊び場の存在意義が薄れてきている。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 安全な遊び場としての機能を保つための施設維持管理は、設置者である区が行う必要がある。また、民有地の所有者は区に貸すことを条件としている。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 遊び場利用に受益者負担の考えをとっていない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 良好に遊び場施設を維持するための事業である。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 遊び場施設の維持管理であり、必要なコストである。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 遊び場について、利用状況、土地の権原、周辺の公園緑地の配置状況等を見ながら、1.区立公園化、2.遊び場として存続、3.土地の返還にそれぞれ分け、再整備等の検討をしていく。遊び場として存続する場所については、施設の老朽化から安全性、快適性などを確保するため、維持管理のあり方を見直す。また、遊び場管理は公有地の先行取得用地を除き、段階的に縮小する。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 民有地の土地取得には、大きな財政負担がともなう。遊び場対策に対する予算額の圧縮も阻害要因となる。本事業の実手法やあり方を検討しながら、計画的な事業推進(例えば、近隣に新設の公園を整備した際、遊び場の閉鎖を計画)を行う。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	施設の安全性や、快適性などへの区民要望に応えるため、これまで以上にきめ細かな維持管理をする必要がある。同時に、中長期的な視点にたち、今後の課題を検討する。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(仮称)杉並南中央公園の整備			整理番号	697		枝番号		
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3454		
係名		公園整備係			上位施策名				No	
予算事業名		地域公園整備		コード	63250		昨年度整理番号		769	
予算事業名		地域公園整備			公園づくり				No	
事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 都市公園法						
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 地方自治法第281条						
(仮称)杉並南中央公園		(3) 杉並区立公園条例								
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名(式)						
	12年度 用地買収。ワークショップによる計画づくり 13年度 設計。区民参加による管理運営方法の検討。 14年度 第一期整備工事。区民参加による管理運営の検討 15年度 第二期整備工事。区民参加による管理運営の検討推進 16年度 供用開始。			(1) 当該年度公園用地取得面積						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			(2) 公園づくりにおける区民参加型会議の開催数						
現在の魅力ある自然を守り育て、豊かなみどりを享受できるとともに、あらゆる年齢層がレクリエーションを楽しめる場をつくる。また、防災機能向上にも資するものとする。			成果指標名(式)							
			(1) 当該公園用地取得累計面積							
			(2) 区立の防災公園数							
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
				計画	実績		16年度	17年度		
指標	活動指標(1)	㎡	673	30,951	3,983	3,983	3,944	43,458	9.2	
	活動指標(2)	回	7	6	20	28	30			
	成果指標(1)	㎡	672.62	31,623.91	35,607.10	35,607.10	39,551.97	43,458.30	81.9	
	成果指標(2)	園	3	3	3	3	3	4	75.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	194,060	8,420,652	1,469,235	1,444,584	1,325,217	特記事項 平成16年度に事業が終了し、総事業費は、約120億円。		
	(内)委託費	千円		21,518	30,041	28,000	1,500			
	職員数(正規 非常勤)	人	2.30	2.07	1.76	2.80	1.88			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	20,891	18,802	15,986	25,432			17,076
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++	千円	214,951	8,439,454	1,485,221	1,470,016	1,342,293			
	単位あたりコスト ÷	円	319,392	272,671	372,890	369,073	340,338			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金	千円	150,000	8,393,117	1,332,300	1,420,012			1,046,000
		特定財源計 +	千円	150,000	8,393,117	1,332,300	1,420,012			1,046,000
差引:一般財源 -		千円	64,951	46,337	152,921	50,004	296,293			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	公園の計画づくりから管理運営にいたるまで、区民参加で考える意識が高まってきている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	今の魅力ある自然を守って欲しい。 子供から高齢者まで、自由に利用できる公園にして欲しい。 防犯上、安全で、安心して使える公園にして欲しい。								
	今後の予測	公園整備は平成16年秋に完了。開園に伴い、区民参加による管理運営も具体的に活動を開始し、地域に根ざした区民主体の公園管理運営が実現する。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	140.0	14年度予算執行率%	98.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	14年度には、第1期工事が完了した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	分科会(自然の会・遊びの会・施設の会)が発足し、区民主体で今後の活動方針等公園管理にかかわる問題の検討会を各会及び全体会合わせて28回行った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですが 貢献度 大(理由)	理由:公園として整備することにより、貴重なみどり・魅力ある自然を守り、引き続き災害時の避難場所を確保でき、さらにはレクリエーションの場を得ることができるため、区民福祉の向上に大きく貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由:都市公園の整備は国または地方公共団体が行うべきものであり、面積10ha未満の公園整備は区が主体となって実施するものである。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:受益の対象が不特定多数の区民であり、地域公園の整備は区の責務であるため。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:厳しい財政状況の中、対象用地を拡大することは困難であるため、変更は適切でない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:既存の自然環境やクラブハウスなどの施設を極力活用し、保安・交通上の安全確保、バリアフリー化、雨水処理対策など必要最小限の整備を行い、供用を開始する。なお、その後の整備については管理運営をふまえ、段階的に改善を図っていく。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 公園の開園(平成16年度)までに、管理運営についての区民主体による3つの分科会(自然の会・遊びの会・施設の会)の意見を聞き、今後の活動方針等公園管理のかかわり方について検討をする。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民参加による公園づくり及び管理運営のかかわり方については、意見の集約に時間がかかる等難しい問題が多い。職員がワークショップ等の経験やノウハウを習得する必要がある。また、区民が主体的に関われるような意識を高めることのできるプログラムや、子供から高齢者までの色々な世代が参加できるような方策を探る。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	本公園の第二期整備工事は債務負担行為で、その年度は平成16年度である。なお、当公園用地の再取得は前年度に準じた規模である。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園改修				整理番号	698		枝番号				
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	771		
係名				公園整備係				上位施策名			No		
予算事業名				公園改修		コード	63500		公園づくり			13	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				13 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条 (3) 杉並区立公園条例								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他												
	区立公園(20園)												
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 老朽化した区立公園において、施設などを見直し改修する。				活動指標名(式) (1) 当該年度改修公園個所数 (2) 改修公園累計数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設などを見直し改修することにより、区民にとって安全で魅力的な公園にリフレッシュする。				成果指標名(式) (1) 公園改修率 = 改修公園累計数 ÷ 公園改修予定数(29公園) (2)									
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
					計画	実績		22年度	年度				
指標	活動指標(1)		園		2	2	2	2					
	活動指標(2)		園		2	4	4	6	29	13.8			
	成果指標(1)		%		6.9	13.8	13.8	20.7	100.0	13.8			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円		17,974	58,050	54,884	30,020	特記事項				
	(内)委託費		千円		735								
	職員数(正規 非常勤)		人		0.25	0.50	1.70	0.60					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	2,271	4,542	15,441				5,450	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0	
	総事業費 + +		千円	0	20,245	62,592	70,325	35,470					
	単位あたりコスト ÷		円		10,122,500	31,296,000	35,162,500	17,735,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0	
差引:一般財源 -		千円	0	20,245	62,592	70,325	35,470						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		公園を設置してから、かなりの年数が経っている公園が多い。また、傷んでいる遊具等が多く、部分改修では収まらない公園が増えている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		安全に利用できる遊具の維持管理や砂場の衛生管理等の要望がある。										
	今後の予測		老朽化した公園が大変多く、計画規模の充実が必要である。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	94.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	公園の部分改修計画どおり実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですが 貢献度 中(理由)	理由: 老朽化した既存施設を見直すなどして、安全性の向上や公園の魅力付けができ。公園のリフレッシュが果たせる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 都市公園の改修であるため、施設管理者である区の責務である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(^) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 受益の対象が不特定多数の区民であることや、公園の管理者である区の責務であるため、見直す余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 対象が区立公園であるため、対象を変更することは適切でない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 老朽化した既存施設を見直すなどして、新たな施設を設置するため、コストを下げる余地はない。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 区内の公園は、設置年度が古いものが多く施設がかなり老朽化している。特に球戯場・複合木製遊具などは、腐食しているものが多く子供にとって大変危険であり改修していかなければならない。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	実施計画に基づき、1年に2園づつの改修を予定しているが、老朽化が進み危険度が高い公園については早急な対応が必要である。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特色ある公園づくり				整理番号	699		枝番号						
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	772				
係名		公園整備係				上位施策名				No					
予算事業名		公園改修		コード	63500		公園づくり				13				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法										
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区立公園				(2) 地方自治法第281条										
					(3) 杉並区立公園条例										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 既存の公園に、ある種の付加価値をつけて、今以上に公園の魅力を引き出すことを目的とする。				活動指標名(式)											
				(1) 当該年度整備した木と花のコースの数											
				(2) 整備した木と花のコースの累計数											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 公園を特色ある公園として再整備することにより、地域に密着した、より区民に愛され、魅力ある公園を創出する。そして、区民の公園に対する関心を向上させる。				成果指標名(式)											
				(1) 整備した木と花のコース整備率 = 整備した木と花のコースの累計数 / 整備予定数											
				(2)											
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画		目標値		目標値に対する14年度の達成率%				
					計画	実績			22年度						
指標	活動指標(1)		コース		1.5	1.5	1.5	1.5							
	活動指標(2)		コース		1.5	3.0	3.0	4.5	15	20.0					
	成果指標(1)		%		10	20	20	30	100	20.0					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円		4,703	4,520	4,305	6,012	特記事項						
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人		1.20	0.57	0.60	0.60	活動指標(1)、(2)に関しては、累計による目標値と達成率である。						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	10,900	5,177	5,450				5,450			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0			
	総事業費 + +		千円	0	15,603	9,697	9,755	11,462							
	単位あたりコスト ÷		円		10,402,000	6,464,667	6,503,333	7,641,333							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0			
差引:一般財源 -		千円	0	15,603	9,697	9,755	11,462								
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区民ニーズの変化に伴い、既設公園にある種の付加価値をつけて、区民に親しまれる公園として、再整備することが求められている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		あまり使われていない公園がある。 今ある貴重なみどりを守って欲しい。 子供だけでなく、高齢者も自由に、また、気軽に利用できる公園が欲しい。 防犯上、安全で安心して使える公園にして欲しい。												
	今後の予測		余暇の拡大、価値観の多様化、及び生活習慣の変化に伴い、公園に対する区民の関わり方・要望などが多岐にわたることが見込まれる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	95.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画通り、木になる巡り会いコースを高井戸地区(高井戸わんぱく公園 富士見丘西公園 富士見丘児童遊園 昭栄公園 浅間橋公園 つばき緑地 高井戸みどり公園 山中公園)で1コース、自然との花し会いコースを桃園川緑道で0.5コース整備した。区民との関わりについては、木になる巡り会いコースでは、児童館の子供たちに説明板の文字を書いてもらい、自然との花し会いコースでは、町会と小学生に花の植付けをしてもらった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	植付け本数や面積を増やすことで、公園利用者へ事業をアピールするとともに、植付け等、区民参加の充実はかり、公園利用を促進する。					

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですが 貢献度 大(理由)	理由: みどり・自然の確保、災害時及びレクリエーションのためのオープンスペースの確保など公園の存在価値は高いが、それ以上に多くの人に活用される公園づくりを進めることで、公園を活性化させる効果がある。
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区民が創る「みどりの都市」杉並を推進していくための手段として、区が率先して特色ある公園づくりを進めていく立場にある。
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 受益の対象が不特定多数の区民であり、公園の整備は区の責務であるため。
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: テーマを決めてコースの設定を行っているので、対象の変更は適切でない。
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 計画では、1コースあたり10園を基準としたが、今回8園で構成し整備した。これより1コースの園数を減らすと、コースを整備する効果が薄れる。

今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
-----------	---

中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 今後の特色ある公園づくりにおいては、区民が何らかの形で関われるようなプログラムを探り、実践する。そして、今後の管理運営についても引き続き関わっていけるように誘導する。また、区民のこの事業に対する認知度が低いため、PRの方法、イベントの開催等を検討していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 当初、区民が花、木の植付けなどに参加しても、その後継続して水やり、除草などに関わっていくことが難しい。区民が継続して参加できる方法を検討する必要がある。また、認知度を高めるために、数コースの整備が完了した段階でパンフレットの作成、イベントの開催などを検討する。

短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 特色ある公園づくりを区と区民の協働で推進し、積極的に区民が管理運営にまで関わるようになれば、公園に対する区民の愛着も高まる。そのことが地域のコミュニティの形成・向上につながるため、ますます推進していかなければならない。	

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域の名所づくり				整理番号	700		枝番号		
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902	連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	773	
係名					公園整備係		上位施策名				
予算事業名					公園改修		コード		63500	No	
					公園づくり		13				
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 都市公園法				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 地方自治法第281条				
	区立公園(7園)						(3) 杉並区立公園条例				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				既設公園に新しい花空間を創出し、1地域に1ヶ所の花の名所となるような公園を整備する。		活動指標名(式)					
						(1) 花の名所整備個所数					
						(2) 花の名所づくりに何らかの形で参加した区民の数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				公園を花の名所として魅力ある場に再生することにより、地域に密着した、より区民に愛され、魅力ある公園を創出する。		成果指標名(式)					
						(1) 花の名所整備率 = 花の名所整備箇所累計 / 対象公園数					
						(2)					
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
				計画	実績		15年度				
指標	活動指標(1)	個所		3	2	2	2	7	28.6		
	活動指標(2)	人		358		150					
	成果指標(1)	%		42.8	71.4	71.4	100.0	100.0	71.4		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円		28,140	23,140	22,050	25,020	特記事項			
	(内)委託費	千円									
	職員数(正規 非常勤)	人		1.65	0.75	1.67	1.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	14,987	6,812	15,169	10,900			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	0	43,127	29,952	37,219	35,920				
	単位あたりコスト ÷	円		14,375,667	14,976,000	18,609,500	17,960,000				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	43,127	29,952	37,219	35,920				
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	区民のニーズの変化に伴い、既設公園にある種の付加価値をつけ、区民に親しまれる公園として再整備することが求められている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	あまり使われていない公園がある。今ある貴重なみどりを守って欲しい。子供だけでなく、高齢者も自由に利用できる公園が欲しい。防犯上、安全で安心して使える公園にして欲しい。									
	今後の予測	余暇の拡大、価値観の多様化、及び生活習慣の変化にとまない、公園に対する区民の関わり方・要望などが多岐にわたることが見込まれる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	95.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画どおり2地区で名所づくり整備を区民参加で行った。 妙正寺公園 小学校児童及び区民とつつじを植樹 (参加者125名) 井荻公園 区民と山野草の植付け (参加者25名)					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由: みどり・自然の確保、災害時及びレクリエーションのためのオープンスペースの確保など公園の存在価値は高いが、それ以上に多くの人に活用される公園づくりを進めることで、公園を活性化させる効果がある。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由: 区民が創る「みどりの都市」杉並を推進していくため一つの手段として、区が率先して花の名所づくりを進めていく立場にある。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更 ▼	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 受益の対象が不特定多数の区民であり、公園の整備は区の責務であるため。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由: 地域のバランスを考慮して各地域1か所と計画しているため、対象を変更することは適切でない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 花の名所と呼ぶにふさわしい公園とするには、ある程度の植栽規模・ボリュームが必要であるため、これ以上植栽面積を縮小した場合、名所としての効果が薄れる。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 残りの花の名所づくりにおいては、区民が何らかの形で関わられるようなプログラムを探り、実践する。そして、今後の管理運営についても引き続き関わっていただけるように誘導する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民参加する年代が比較的高齢な方が多く、子供・若い世代の参加が少ない。継続して管理運営に関わってもらうためにも、幅広い世代の方々が参加しやすい方策を探り、引き続き研究する。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	目標値の7園は、15年度の2園で計画どおりの整備が完了するので、この事業は終了する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公衆便所の維持管理				整理番号	701		枝番号			
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221901	連絡先電話番号	3442		昨年度整理番号	774		
係名		管理係			上位施策名				No			
予算事業名		公衆便所維持管理		コード	64900		公園づくり				13	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				28 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区立公衆便所条例							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)							
	区立公衆便所17所				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。				活動指標名(式)							
				(1) 公衆便所数								
				(2) 定期清掃回数(年間延回数)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 公衆便所を適正に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。				成果指標名(式)								
				(1) 公衆便所のバリアフリー化率 = バリアフリー化された便所数 ÷ 公衆便所数								
				(2)								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		所	17		17		17	17	17		
	活動指標(2)		回	4,870		4,870		4,870	4,870	4,870		
	成果指標(1)		%	52.9		52.9		52.9	52.9	52.9		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17,774		17,440		14,845	14,750	14,373	特記事項	
	(内)委託費		千円	13,277		12,954		11,735	11,477	11,133		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.51	0.00	1.51	0.00	1.51	0.00	1.51		0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,715		13,715		13,715	13,715		13,715
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0		0
	総事業費 + +		千円	31,489		31,155		28,560	28,465	28,088		
	単位あたりコスト ÷		円	1,852,294		1,832,647		1,680,000	1,674,412	1,652,235		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0	0		0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0	0		0
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0		0
差引:一般財源 -		千円	31,489		31,155		28,560	28,465	28,088			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和49年4月に17ヶ所の区立公衆便所を供用した。その後は、区立公園の公園施設として公園便所の設置が進み、公衆便所は新設していない。また、公衆便所の半数は、バリアフリー化にはなっていない。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		高齢者や身障者の社会進出に伴い、その活動範囲を広げるためにバリアフリー化した公衆便所への改修や、新設を望む声がある。また、清潔・快適で安全な施設にしてほしいとの要望も多い。									
	今後の予測		現在供用している公衆便所のバリアフリー化は、9ヶ所であり残り8ヶ所のうち駅周辺の2ヶ所について、バリアフリー化の改修が必要である。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	99.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	公衆便所の全面改修は、多大な経費が必要である。また、設置の状況や利用者数から費用対効果を考慮した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	17ヶ所のうち、11ヶ所を地域別ブロック方式の清掃に組み入れ、清掃費用の削減を行った。 平成14年度 清掃委託費 11,477千円 平成15年度 清掃委託費 11,133千円					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼		理由: 快適なまちを保持するため、また、まちの環境美化のため公衆便所の役割は大きい。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼		理由: 衛生的で清潔な、また、快適・安全な施設を提供するためには、17ヶ所共通のきめ細かな維持管理が必要である。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他 ▼		理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼		理由: 都市環境の保持が公衆便所の使命であり、有料化することにより利用されなくなった場合、環境の悪化が予想される。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼		理由: 公衆便所は、都市機能の重要な施設の一つであり、区内で行動する全ての人に必要なものであり、対象を縮小できるものではない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼		理由: 衛生的で清潔な施設を供用するためには、必要な経費である。			
今後の事業のあり方		<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) バリアフリー化していない既設の8ヶ所について、計画的な改修が必要である。 維持管理については、防犯上・衛生上から日常の点検を行う重要な施設であるため、経常的な対応を行える体制を整える。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 経費が多額である。1ヶ所あたり約10,000千円の経費が必要である。バリアフリー化になっていない8か所のうち、駅周辺の2か所については、計画的に改修を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 近年、施設本体への落書きや衛生機器が破損される傾向がある。また、路上生活者が長時間に渡り占拠してしまうこともあり、夜間の巡回パトロール等も考えなければならない。安全性や清潔感が大切な施設であるため、きめの細かい維持管理が重要であり、必要最小限の経費増はやむを得ない。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの実態調査				整理番号	702		枝番号	
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	
係名		みどりの計画係			上位施策名				No	
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全・創出			12	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 47 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第5条					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)					
	区内に存する全ての緑				(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内の緑の実態を把握するため、概ね5年に1度緑被率調査等を実施する。				活動指標名(式)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 緑の良好な育成。				成果指標名(式)						
				(1) 住民意識調査回収率						
				(2)						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		件			1	1			
	活動指標(2)		件			2,000	1,985			
	成果指標(1)		%			100	30			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			45,005	27,783		特記事項 次回調査の予定は平成19年度である。	
	(内)委託費		千円			44,980	27,783			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.40	0.40			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	3,633	3,633		0
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	0	0	48,638	31,416	0		
	単位あたりコスト ÷		円			48,638,000	31,416,000			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	48,638	31,416	0			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和47年に第一回の調査を実施して以来、過去6回は緑の減少傾向を示していた。今回、7回目の調査は、調査方法・精度の向上等があるが、緑の増加がみられた。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		前回調査(5年前)よりみどりが増加した原因を知りたい。今回の調査項目の一つである住民意識調査では、緑の量について満足している人が約7割いた。							
	今後の予測		調査結果を同内容で対比することが必要で、調査方法の確立を図る。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	99.3	14年度予算執行率%	61.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	競争入札の結果、契約額が極端に低かった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 緑化施策の検証や、新規事業の立案などの基礎資料として重要な調査である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区内全域の緑の実態把握であるため、区民の理解と協力を得て区が行うべきである。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由: 緑の実態把握を目的とした調査であるため、成果は、結果のまとめそのものである。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 緑の実態把握の調査であるため、受益者負担を求める余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 区内の全ての緑を対象とする調査であるため、対象の変更はありえない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 緑化施策の基礎資料として必要な調査内容を適正に実施するため、コストを下げる余地はない。 ただし、委託による実施であるため、結果として競争入札により低コストとなる場合もある。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	概ね5年に1度の調査であるため、次回は平成19年度を予定している。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(仮称)桃井中央公園			整理番号	707		枝番号			
所属部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3454			
係名		公園整備係			上位施策名				No		
予算事業名		地域公園整備		コード	63250		公園づくり				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条 (3) 杉並区立公園条例						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (仮称)桃井中央公園										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) (仮称)桃井中央公園として開園するまでの間、暫定的に原っぱ広場として整備する。				活動指標名(式)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 平成22年度本格整備完了まで期間があるため、暫定整備し原っぱ広場(遊び場)として有効利用し区民に開放する。				成果指標名(式)							
		区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
						計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		㎡			30,000	28,950				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			50,050	49,437		特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人			1.32	1.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	11,990	11,808	0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	0	62,040	61,245	0			
	単位あたりコスト ÷		円			2,068	2,116				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	0	62,040	61,245	0				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区民による樹木の寄付などもあるように、原っぱ広場に対する区民の関心はかなりある。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		ほとんど遊具等はないが、見通しよくのびのびとできるのでとても良い。子供が駆け回っても広々しているので安心である。犬を散歩させているので注意して欲しい。野球をしているので注意して欲しい。								
	今後の予測		将来は都市基盤整備公園とともに防災公園として整備する。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	96.5	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	98.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画通り実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	防災公園としての公団による本整備までは期間がある。なお、都市公園としての供用開始は平成22年度末の予定であるが、本格整備開始時期については現在未定である。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 暫定ではあるが、これだけの面積の広場がある公園は、区内にはなく、区民特に小学生などには人気があり喜ばれている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 遊び場の整備は、区が主体となって実施するものである。				
	(3) 成果を向上させることができますか 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 受益の対象が不特定多数の区民であり、遊び場の設置者である区の責務であるため、見直し余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 当該遊び場の隣地では、住宅部分の工事が開始されるため、安全面からも対象の変更は適切でない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 最低限必要であると思われる施設だけしか設置しておらず、コストを下げる余地はない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 14年度終了事業。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 14年度終了事業。					